

CSRの重要課題(マテリアリティ)と取り組み状況

当社グループでは、「事業活動を柱として、社会の持続的な発展に貢献します」というCSR活動方針のもと、ステークホルダーとの対話で得られたご意見を参考にしながら、CSRの重要課題を特定しています。

また、2030年に向けて世界的な優先課題やあるべき姿を明らかにしている「持続可能な開発目標(SDGs)」に、当社グループのマテリアリティを中心とする関連した取り組みを通じて貢献することを目指しています。

持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)

2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標(SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成すべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動等に関する17のゴールが宣言されています。



重要課題		ステークホルダー 参画の機会(参加者)	重要である理由	KPI(マネジメントアプローチ)	KPI(マネジメントアプローチ)						関連ページ
				管理のポイント・指標	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	集計範囲	関連するSDGs		
 お客さま	交通安全の 取り組み	●お客さまセンター (高速道路利用者)	高速道路での交通事故は、死傷事故など重大な事故につながります。	死傷事故率※ ¹ (自動車走行車両1億台kmあたりの死傷事故件数)	3.8件/億台km	4.0件/億台km	後日ウェブサイトに掲載	NEXCO西日本事業エリア の全国路線網		P.27	
				車限令違反車両取締台数(高速道路上で実施した車限令違反車両の取締りにおける措置命令台数)	――	304台	――			P.20	
				逆走事案件数※ ¹ (交通事故または車両確保に至った逆走事案の件数)	――	84件	――			P.28	
				人等の立入事案件数(歩行者、自転車、原動機付自転車等が高速道路に立入り、保護した事案の件数)	730件	908件				――	
	快適な高速道路 空間の提供	●SA・PAに設置した利用者向け投書コーナー「ハイウェイポスト」 (高速道路利用者)	高速道路の円滑な交通を24時間365日確保することによって、国民生活を豊かにし、経済活動を支えることが、当社の責務です。	顧客満足度(CS調査で把握する維持管理に関するお客さまの満足度(5段階評価))	3.7ポイント	3.7ポイント	後日ウェブサイトに掲載			P.67	
				年間利用台数	1,082百万台	1,109百万台				P.7,70,72	
				通行止め時間(営業延長(上下線別)あたりの雨、雪、事故、工事等に伴う年平均通行止め時間)	――	79時間	――			P.17-30	
				本線渋滞損失時間※ ¹ (渋滞が発生することによるお客さまの年間損失時間)	573万台・時	751万台・時	後日ウェブサイトに掲載			P.28	
	SA・PAのお客さま 満足施設への変革	●包括協定、連携協定 (各地域の地方公共団体)	高速道路は基本的なインフラであり、誰もが利用しやすい施設であることが求められています。	路上工事による交通規制時間※ ¹ (道路1kmあたりの路上作業に伴う交通規制時間)	――	104時間/km	――			P.12-26,31-38	
				ベビーコーナー設置箇所数	――	1カ所 (累計109カ所)	――			P.48	
			キャッシュレス決済率	――	36.6%	――		――			
 社 会	社会基盤である 高速道路の整備と 長期保全	●事業説明会(地域住民)	高速道路ネットワークは、国民生活を豊かにし、経済活動を支える、基礎的な社会資本です。また、輸送コストの削減や交通事故の減少にも貢献しています。	新規開通路線延長	――	――	――	NEXCO西日本事業エリア			P.31-35
				4車線化完成路線延長 ※道路整備特別措置法第3条に基づく改築事業に限る	5.7km	18.0km	2.8km				P.37,38
		●お客さまセンター (高速道路利用者)	●SA・PAに設置した利用者向け投書コーナー「ハイウェイポスト」 (高速道路利用者)	管理する道路の多くが建設から30年以上を経過し、補修を必要とする道路構造物が増加しています。	快適走行路面率 (快適に走行できる舗装路面の車線延長)	98%	98%		95%		P.8,19-22, 62,64
					災害対応力の強化	●包括協定・災害協力協定・連携協定(当社事業エリアの各府県・政令指定都市、陸上自衛隊)	災害発生時、高速道路には、被災地域の救急・復旧・復興のインフラとしての役割が求められています。		南海トラフ地震等における被害に備えた防災備蓄品の新規備蓄箇所	―― (2023年度で供用中路線の備蓄整備完了) 累計 248カ所	累計 248カ所
	高速道路を通じた 地域活性化	●包括協定、連携協定 (各地域の地方公共団体)	人口減少時代を迎え、沿線地域の活性化への貢献が求められています。	地域物産展実施エリア	――	57カ所	――			P.48-54	
				地元が販売・イベント等によりSA・PAを利用した日数	延べ3,663日	延べ3,880日	延べ3,880日			P.48-54	
				ウェルカムゲート(一般道からSA・PAに立ち寄れるゲート)新規設置数	――	1カ所 (累計84カ所)	――			P.48	
				地域振興や観光振興を目的とした企画割引等の販売件数	350千件	282千件	後日、ウェブサイトに掲載			P.43	
	 投資家・ 国民の皆さま	透明性の高い経営と 着実な債務の返済	●事業評価監視委員会 (財界・学術界の外部有識者)	国民の財産である高速道路を管理する事業者として、透明性の高い経営が求められています。また、高速道路機構の債務返済を着実なものにしていくため、経営の効率化が求められています。	高速道路機構の債務削減	P.7の「高速道路機構の債務残高」をご覧ください。			(旧道路関係4公団)		P.7
		積極的な情報公開	●事業説明会(機関投資家) ●個別投資家訪問(機関投資家) ●記者会見、記者交流会(マスメディア) ●アンケート調査(NEXCO西日本グループレポート読者)	ステークホルダーから理解・信頼・期待される企業となるために、積極的な情報公開とコミュニケーション活動が重要だと考えています。	社長定例会見、記者交流会の開催	16回	16回	16回	NEXCO西日本		P.67
Facebookを活用した広報展開(NEXCO西日本公式Facebook登録者数の増)					登録者数 30,000人	登録者数 30,000人	――	裏表紙			
CSR報告書での企業活動報告					1回	1回	1回	NEXCO西日本グループ			P.1

※1 集計期間：2024年1月1日～12月31日(他は2024年度実績) ※2 実績には速報値を含む

CSRの重要課題(マテリアリティ)と取り組み状況

重要課題		ステークホルダー 参画の機会(参加者)	重要である理由	KPI(マネジメントアプローチ)		KPI(マネジメントアプローチ)					関連ページ	
				管理のポイント・指標	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標	集計範囲	関連するSDGs			
	公正な取引関係	● 入札監視委員会 (外部有識者)	国民の財産である高速道路の建設・管理を担う会社として、公共調達に係る契約の透明性の確保が求められています。	入札監視委員会の実施回数		—	8回 (各支社2回)	—	NEXCO西日本		P.66	
	SA・PAの テナント会社との 協働	● 現場責任者会議等 (SA・PAテナント会社)	お客さまの多様なニーズに応えるため、SA・PAのお取引先さまとの協働を重視しています。	安全・安心に係る講習等		—	年3回	—	飲食物販テナント事業者等		—	
				誤給油防止訓練		—	年2回	—	元売テナント事業者等		—	
	「安全・安心、 信頼され成長する 企業グループ」を 担う人財の育成	● キャリア相談窓口 (NEXCO西日本社員) ● 経営懇談会、労使協議会 (NEXCO西日本労働組合員) ● 外部講師による研修 (グループ社員)	安全・安心を最優先に、高速道路の進化に挑み続けるため、一人ひとりが仕事を通じて自律的に成長していける人財育成と、組織・会社の自己変革が重要だと考えています。	階層・職種別研修		—	延べ 1,042回	—	NEXCO西日本グループ	  	P.55-60	
				資格取得支援制度の利用者数		—	368名	—	NEXCO西日本		P.57,58	
				女性管理職者比率		—	1.9%	—	NEXCO西日本		P.55-60	
				男性労働者の育児休業取得率		—	58.8%	—	NEXCO西日本		P.55-60	
				新規採用に占める女性の割合		30.0%	23.3%	30.0%	NEXCO西日本		P.55-60	
	脱炭素社会の実現	● 各種の対話の機会を通じた環境コミュニケーション(お客さま、地域住民、従業員、専門家)	高速道路では、自動車から大量のCO ₂ が排出されるため、道路運営全体で、その排出量削減が求められています。	● 環境アクションプラン ● 省エネルギー活動	道路施設の維持管理に要する電気使用量	2020年度実績より4.0%以上削減する	8.1%削減	2020年度実績より5.0%以上削減する	NEXCO西日本事業エリア	  	P.61-63	
					新設料金所等に太陽光発電を設置する	累計20kW	累計20kW	累計30kW			P.61-63	
					エネルギー供給システムに対応した、適切なインフラの整備	電気自動車用急速充電設備を新たに85口増設する	電気自動車用急速充電設備を74口整備完了	電気自動車用急速充電設備を新たに70口増設する			NEXCO西日本事業エリアのSA・PA	P.61-64
	循環型社会の形成		高速道路の建設では、大量の建設副産物が発生するため、その削減が求められています。	● 環境アクションプラン ● 環境物品等の調達の推進	事務用品における特定調達物品等の調達率	100%	100% (規格等により適合商品がない場合を除く)	100%	NEXCO西日本		P.61-63	
					植物系廃棄物(草刈等)の有効利用率	97%以上	94.1%	95%以上	NEXCO西日本事業エリア		P.61-63	
					建設発生土の再利用率	80%以上	99.0%	80%以上			P.61,62,64	
					アスファルトコンクリート塊のリサイクル率	99%以上	100%	99%以上			P.61,62,64	
					コンクリート塊のリサイクル率	99%以上	99.9%	99%以上			P.61,62,64	
	自然と共生する社会の推進	● 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) ● 鵜殿ヨシ原の環境保全に関する検討会(外部有識者、地域住民) その他、必要に応じて外部委員会を設置	高速道路の建設では、沿道地域の自然環境に影響を及ぼすため、その影響の緩和が重要になります。また、沿道地域の生活環境を守るため、道路交通による騒音の低減が求められています。	● 環境アクションプラン ● エコロード(自然に優しい道路づくり)の推進 ● 周辺の生活環境への影響を減らす道路づくり	動物侵入防止対策の設置・改良箇所	5km	5km	12km	NEXCO西日本事業エリア	 	P.61,62,64	
					遮音壁の設置(設置延長)	累計2.0km	2.0km	2.0km			P.61,62,64	
		「安全」「環境」「地域貢献」の取り組み	● 高速道路交通警察隊(当社事業エリアの各府県) ● 高速道路安全協議会(当社事業エリアの各府県) ● 包括協定、連携協定(各地域の地方公共団体)	社会インフラを管理する公共性の高い企業として、地域社会への貢献が求められています。	交通安全出張講座		—	延べ119回	—	NEXCO西日本グループ	 	P.27-28
					職場周辺や各地域での清掃活動		—	延べ911回 8,073人	—			—
つなぎの森活動					—	3カ所	—	NEXCO西日本管内	P.62			

※ 実績には速報値を含む